

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 明治人の人間的魅力 藤原 正彦（お茶の水女子大学教授）

1. 教養がなぜ人間にとって、経済と並立するほど大切なのだろうか。第一は大局観である。日常の細々とした判断は、理論的に考えたり経験に即して考えたりするだけで足りる。しかし大局観とか長期的視野といったものはそうはいかない。例えば現代政治を表面的なものに流されずに考えようとする、歴史の教養に支えられた大局観がいる。現代は過去の続きだからである。
2. 第二に、教養は人間的魅力を高めることにもなる。イギリス外交官の多くは、オックスフォード、ケンブリッジで古典語や歴史を学んだ人々である。明治の目覚ましい成功は、明治人の教養を抜きに語ることはできない。江戸期の文治政策によって、武士は四書五経を中心とする朱子学を存分に身につけていた。戦争はなく生産や商業活動に身を投じていない彼等は、庶民の手本となるよう黙々と教養や道徳を磨いていたのである。武士だけではない、江戸後期は実力主義時代で庶民層からの人材登用も珍しくなかったから、出世を目指す庶民も朱子学を懸命に学んだ。幕臣になった渋沢栄一は武蔵国の農民であった。
3. 日露戦争に参加した上級将校のほとんどは下級武士出身だったが、寺子屋や藩校などで鍛えられていたから漢詩を作ることができた。江戸期の教育を多少とも受けた明治人に、このような教養や武士道精神、そしてそれに付随した人間的魅力があったからこそ、日露戦争では軍事的成功ばかりでなく、外交で国際世論を引きつけ、戦局の有利なときに講和にこぎつけたのである。  
(参考：「文藝春秋」2007年12月号)

## 人事・労務について

### 大卒の大工集団

1. 2005年版の就職志望企業ランキングのゼネコン部門において、大手ゼネコンが上位に名を連ねる中、聞き慣れない中小企業が10位にランクインした。平成建設（静岡県沼津市）がそれだ。秋元久雄社長が平成建設を設立したのは1989年のことだ。これからは全国各地で大工が足りなくなる。それを見越した秋元社長は、創業から4年後の1993年から新卒学生を対象に大工や職人の募集を始めた。自社で育てて職人集団を作ることにしたのだ。
2. 仕事量や給料が不安定で、福利厚生など望めない職人たちにとって、安心して働ける職場は魅力的だ。この採用制度は業界で話題を呼び、高卒だけでなく、建築学科出身の大卒学生の就職希望者も現れ始めた。待遇面でも大手に引けを取らない。その結果、「高学歴大工」が集まるようになった。京都大学大学院、早稲田大学、信州大学院等。90年代後半からは新卒採用の職人がほとんどが、大卒か大学院修了者ばかり。今春入社予定の職人26人もすべて大卒だ。

(参考：「日経ビジネス」：2007年10月15日号)

## 海外事情

### 「世界のサービスセンター」へ変化（中国）

1. 中国は、経済の成長（量的拡大）から発展（質の向上）へと経済運営のカジの切り替えを宣言し、外資政策でも選別を強める方針を打ち出している。ハイテク、先進的製造業、サービス業、農業、環境産業を投資奨励業種とし、汚染をもたらしたエネルギー浪費型の業種は厳しく制限するというのがその内容だが、実は外資の例でもすでに対中投資の内容が変化しつつある。
2. 2007年上半期のサービス業への外国直接投資は、前年同期比58%増の138億ドル（約1兆5000億円）と急増し、その中身も、ソフト開発、データ処理、ビジネス仲介、アニメ製作、デザイン、研究開発など多様である。中国の形容詞がこれまでの「世界の工場」から「世界のサービスセンター」に変わる日も意外に近いのかもしれない。

(参考：「WEDGE」2008年1月号)

## 古典に学ぶ

### 人事落葉の如し

「人事の叢集するは落葉の如し。之を掃えば復た来る。畢竟窮已なし。緊要の大事に非ざるよりは、則ち迅速に一掃して、遲疑すべからず、及ち、胸中綽として余暇ありとなす」

(訳) 人間のなすべきことはむらがり集まってくる落葉のようである。掃いても次々集まる。これでなくなるといふことはない。故に、大事なことは以外にさっさと片付け、ためらうべきではない。そうすれば心にも余裕ができる。

(参考：佐藤一斎「言志四録」)：PHP文庫